

学位論文内容の要約

愛知学院大学

甲 第 号	論文提出者 岡部 猪一郎
論文題目 破骨細胞形成に対する IL-15 と RANKL の 相乗効果について	

(内 容 の 要 約)

No. 1

愛知学院大学

炎症性サイトカインである IL-15 は歯周病やリウマチのような病的骨破壊を伴う疾患に関係しているという報告がある。本研究ではマクロファージ様細胞株である Raw264.7 細胞を使用し、IL-15 の RANKL 誘導性破骨細胞形成への影響を詳細に検討した。IL-15 単独では破骨細胞形成に対して大きな影響を与えないが、RANKL との相乗作用により有意な促進作用を示すことを確認した。また、IL-15 による破骨細胞形成に関わる細胞内伝達経路として ERK が重要な役割を担っていることを確認した。以上のように、IL-15 は骨代謝に対して大きな影響を持っており、IL-15 が生体内での破骨細胞分化に対して重要な役割を担っている可能性は高いと考えられる。